



# 小国中だより

小国町立小国中学校  
令和2年10月21日  
文責 八木幸夫

## ツインデミックに備えて

日に日に寒さが増し、木々の紅葉も進んでいます。冬に向けて、新型コロナウイルス感染は終息の兆候すら見えない状況です。世界的に見れば流行の第2波が深刻な国も少なくありません。冬に向かうこの時期、危惧されているのが「ツインデミック」と称される、新型コロナウイルスと従来型インフルエンザの同時流行です。

季節性インフルエンザの流行規模は、もともと新型コロナウイルスよりはるかに大きいものです。国内の感染者数だけで通常、1シーズン約1千万人と言われていています。しかも、発熱など新型コロナウイルスと症状が似ています。突発的に高熱が出るといったインフルエンザに特徴的な症状が出るか、味覚障害や嗅覚障害が起きるといった新型コロナウイルスに特徴的な症状が出ない限り、症状だけからインフルエンザと新型コロナウイルスを鑑別するのは困難です。そのため、インフルエンザの感染者と新型コロナ感染者が混在し、診療所や一般病院の外来に、大混乱が生じる恐れがあるというわけです。例年以上の感染防止が必要です。

これからの時期は、うがい手洗いの励行、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気の励行等による3密を回避する基本的な生活様式を、さらに徹底しなければなりません。また、寒さの厳しい本町では、体を冷やし体調を崩すことのないよう、防寒対策もまた非常に重要です。

ここ数年、冬季の生徒の登校時の服装が、防寒対策や雪道歩行の安全対策よりもファッション重視の傾向が見られます。防寒着を着用せずに登校する生徒、薄手のパーカーを制服の中に着込んでくる生徒、厚底やヒールの高い不安定な靴底の靴を履いてくる生徒が見受けられます。

冬を前に全校集会で、防寒対策、雪道の安全歩行のために、防寒着や靴について、次のように指導いたしました。これから、防寒着をや冬の靴を準備されると思います。新しく購入されるご家庭も多いかと思います。準備、購入にあたっては防寒、安全を第一に考え、準備、購入をお願いいたします。

## 防寒、安全を第一に

- 登下校時は防寒着を着用し、寒さ対策を十分に行い体調管理に努める。
- 防寒着はダウンやウィンドブレーカー、コート等、防寒性の高いものにする。
- パーカーを制服の中に着用しない。
- 厚底やヒールの高い靴、インナーが斜めになっている靴等、雪道を安全に歩行できるとともに、防雪、防水性の高い靴を履く。

見た目やファッションが気になる年代ではありますが、何より体調管理、安全確保を大事にさせたいと思います。

## ネットトラブル事例 5